

日本共産党横浜市議団

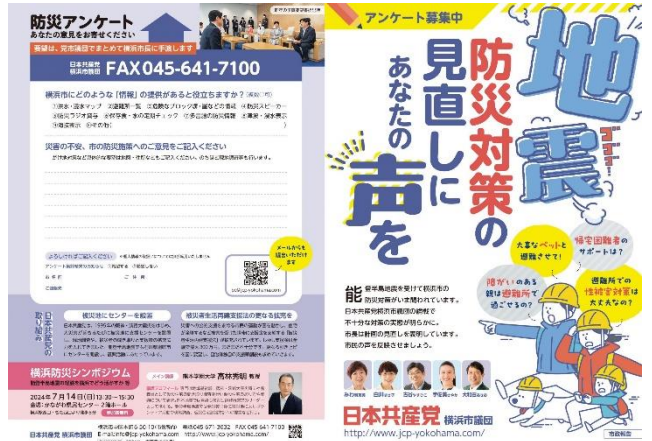
防災アンケートの結果

(第一次)

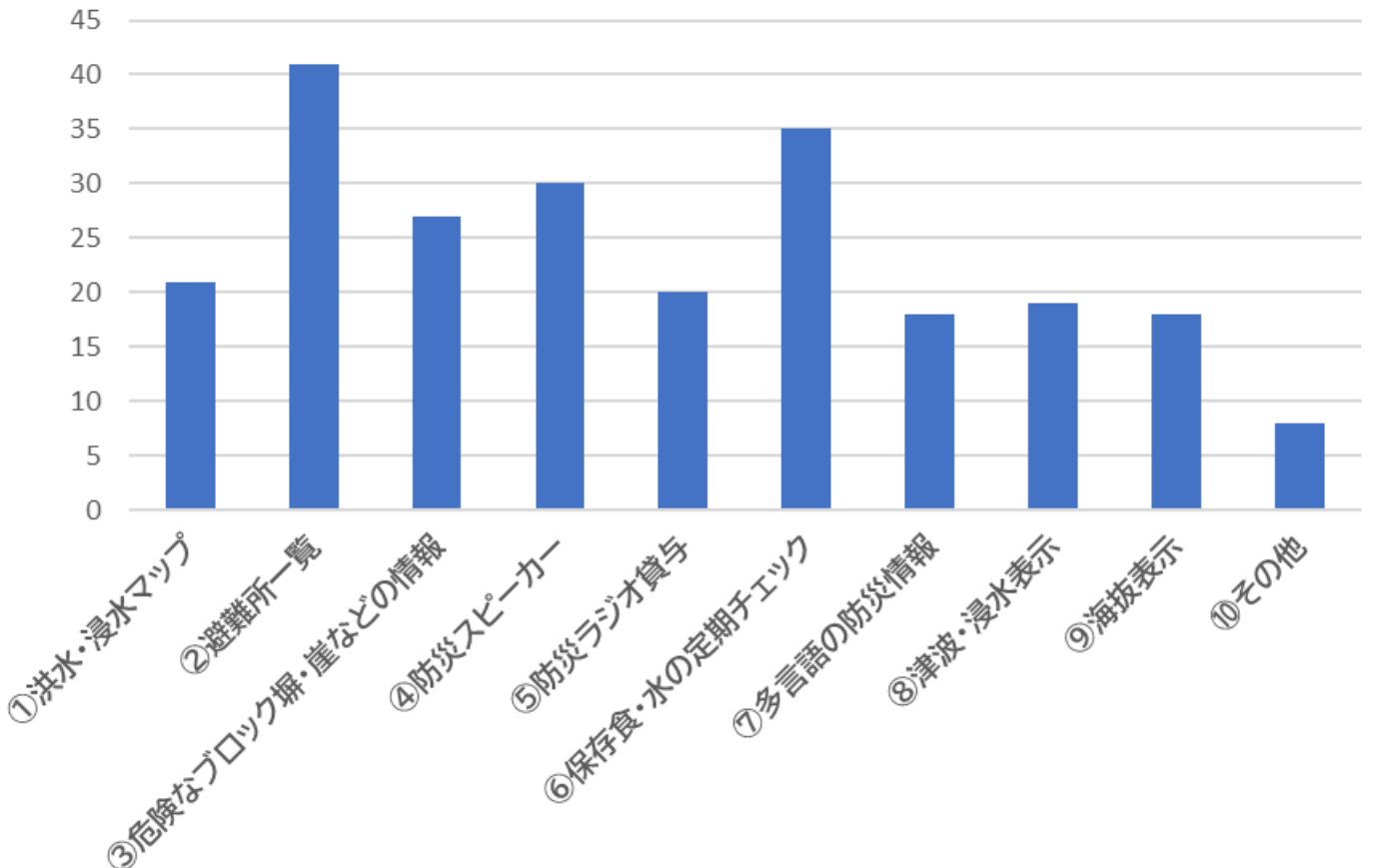
4月後半から7月9日までに94枚の返信がありました。ご協力ありがとうございます。

8月中をメドに市長宛に寄せていただいた市の防災施策への要望や災害への不安の声を届けます。

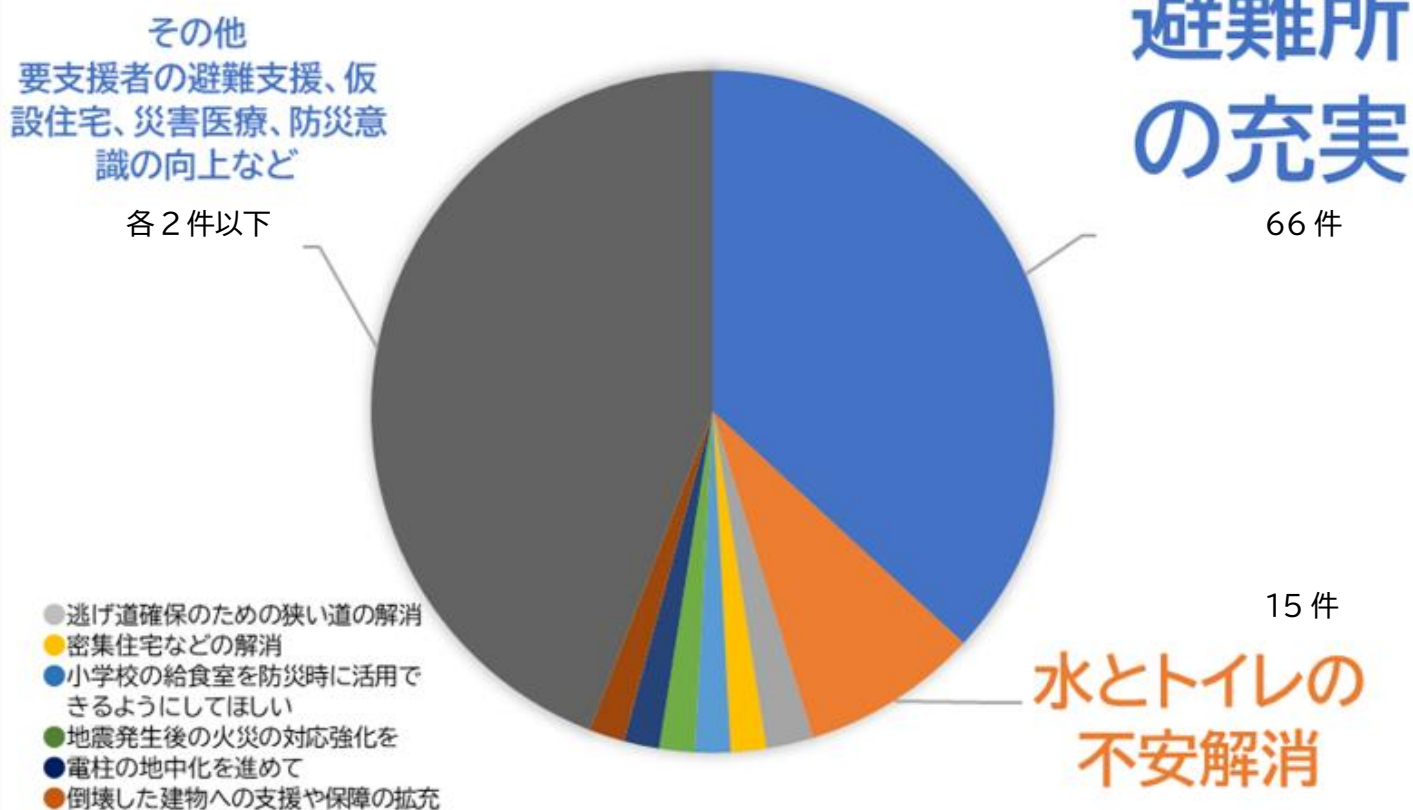
このアンケートは7月末まで募集します。ぜひご協力をお願いします。寄せていただいた声の一部を紹介します。



市からどんな情報提供があると役立つか



市防災対策への意見 177件



円グラフ:寄せられた要望の特徴

【寄せられた要望一覧(要約)】 件数は同要望の数

- 水とトイレに対する不安の解消を 15件
- 避難所の備蓄品(食料・毛布等)は十分な数を。何が不足し必要なのか、プロの視点による定期的な検証を行う仕組みを 10件
- 避難所のプライバシー確保の強化 9件
- 避難所が遠すぎる。もっと近場に 6件
- 避難所・防災施設のマップがほしい 5件
- 避難所は様々な人が使えるような場所に 5件
- 諸外国(イタリアなど)のような快適な避難所づくりと迅速な生活再建構築の計画を 5件
- 避難所に冷暖房を 4件
- 狭い道(狭隘道路)の解消(逃げ道を確保) 4件
- 性被害の心配がない避難所、女性の視点をいれた避難所を 3件
- 避難所を増やしてほしい 3件
- 仮設住宅の必要数の確保 3件
- 高齢者など要援助者一人ひとりの避難支援計画の策定。日常的な把握を 3件
- 小学校の給食室を防災時に活用できるようにしてほしい 3件
- 密集住宅などの解消 3件
- 災害トイレ(マンホール)の設置箇所を増やして 3件
- 電柱の地中化を進めて 3件
- 地震発生後の火災の対応強化を 3件
- 倒壊した建物への支援や保養の拡充 3件
- 避難所には、どうなったら避難できるのか具体的に教えてほしい 2件
- 自家用車で避難し、車内で寝泊まりする場合

- のサポートプランがほしい 2件
- 避難用の野外テントと設置場所の確保を 2件
- 障害者や高齢者など要支援者への日常的な災害対応のネットワーク構築を 2件
- 防災対策のひとつに放射能対策を加えてほしい（横須賀原子力空母の事故も想定した）2件
- 中学校給食を学校調理方式でやったら、災害時に活用できるのではないかと 2件
- 市民の防災意識を向上させる取り組みを 2件
- 太陽光発電水浄化システムを 2件
- コンビニ等と提携し非常時に炊き出し用食材の提供確保を 2件
- 防災用貯水槽が津波で使えなくなると不安。身近なところにも設置を 2件
- 小学校は地域の大切な防災拠点。統廃合を進めないで 2件
- 家庭での備蓄品の必要量の情報提供 2件
- 全ての橋で耐震対応を一刻も早く 2件
- 外国人向けに発災時の避難の初動や手順などの丁寧な共有を。旅行者には機内で。居住者には居住したすぐ直後に見てもらおうような取り組みを 2件
- 防災スピーカーの設置箇所をもっと増やしてほしい 2件
- 避難所に実際関わる医師や福祉専門家、警察や消防などで運営委員会を立ち上げて現状の問題点の洗い出しを 1件
- ペットも一緒に行かれる避難所に 1件
- 避難所に生理用品、高齢者用パットの備蓄を。また、使用済みおむつなどの処理用ふくろの備蓄を 1件
- 避難所にシャワーなど入浴できる設備を 1件
- 避難者数に応じた個別の避難所マニュアルの更新・新規作成（外国人対応、教室割、ペット可エリアの設定、割り当て教室の生徒児童マニュアル） 1件
- 川崎市のように避難所の補完施設を増やす取り組みを。例えば寺院や保育所など 1件
- 避難所サポートアプリの開発を。各地域防災拠点の現状の見える化を。足りない備品や空き状況、ボランティア要望なども共有できるようにしてほしい 1件
- 宗教上の配慮（食事など）もできるような避難所を 1件
- 避難所の「薬」のニーズに応えられる薬局との提携を 1件
- 発災時に一時避難所として利用できる大型店舗などとの提携を 1件
- 自宅避難者への事前の情報提供や支援内容をもっと充実してほしい。避難所にどんな物資があるのか、リアルタイムで分かるようにしてほしい 1件
- 金沢区の一部地域のように3.11に液状化した地域に液状化対応の避難所の設置を 1件
- 人工透析や酸素ボンベなど生命維持に欠かせない装置などを発災後に速やかに提供できる事前の準備を 1件
- ペット可の仮設住宅を 1件
- 在宅避難者のことを考えた対策を 1件
- ボランティアの登録人数を増やしてほしい 1件
- 太陽光発電を災害用として位置づけて市営住宅など色々なところに設置を 1件
- 使える井戸の管理と情報提供を 1件
- 道路にはみ出ている木々の対策を 1件
- レッドサラマンダー（水陸両用車）、レッドタートル（中型）を横浜市で 1件
- 逃げて！戻らないで！と避難を呼びかけること。そして冷静に行動できるようにすることをもっと公報してほしい。1件
- 電波過敏症でも避難できる場を確保してほしい 1件
- 街中で住民が「危険」と思った場所を市に伝えられる（写真を送るなど）市民からの情報提供窓口の創設を 1件
- 災害時のデマ情報を無くす取り組み 1件
- 震災がれきをどう処理するのか事前の準備を 1件
- 家屋の耐震強化への公的補助を 1件
- 災害関連死を起こさせない準備を これまで

- の震災で積み上がったデータ基に 1件
- 災害時の医療体制の充実をいまから 1件
 - 災害に備えて数日分の食料品・水などの備蓄が呼びかけられているが、物価高騰で生活が苦しい。何らかの支援策を。1件
 - 一人世帯が多くなっていて、近所・地域で見守りやつながりの強化を 1件
 - 災害後の心のケアを。助け合いの連絡体制の構築を 1件
 - 身近なところにスマホが充電できる場の設置を 1件
 - 災害後のインフラ復旧状況をいつまでにどのメディアで公報するのか明確にしてほしい。また支援物資の補充の進行状況も分かるように 1件
 - 防災用の井戸を設置してほしい。一時避難場所の公園など身近なところに 1件
 - 高齢世帯などに防災ラジオの無料配布を 1件
 - 町内自治会用に地域放送設備の設置を 1件
 - 防災計画の見直しは市民の声が反映される仕組みを。市HPに意見募集のコーナーなど設置して 1件
 - 災害で被害を多く出す開発は規制を。崩落危険地域から建物の撤去を 1件
 - 震災後の火災を起こさせない知識をもっと市民に行きわたらせて 1件
 - 高齢者や難聴者のために「張り紙」での防災情報の提供を 1件
 - 震災に強い電気ガス水道の設備に切り替えていくこと 1件
 - 大雨洪水情報はどこに流れるのかももっと告知を 1件
 - 市の災害本部の代替施設を市西部の想定震度が低い地域に設置を 1件
 - 各区で独自にBCP（災害時に重要業務が中断しない事業継続計画）を作成し、実行のための予算確保を 1件
 - 市内で災害ボランティアの登録をはじめ事前に確保と訓練実施を 1件
 - 避難訓練をより実践的なものに。小中学校の避難訓練時に地域の訓練も合わせて行う、市・区・避難所の訓練も同日に行うなど 1件
 - 聴覚・視覚障害者にも正確な防災情報、避難情報が伝わる取り組みを 1件
 - 市大の医師と街の開業医の危機管理体制の構築を。発災時など緊急事態の時に「街の開業医院への医師派遣」等を義務化する市条例の制定を 1件
 - 日常的に危険なバス通りは、発災時はもっと危なくなる。バス会社と対策をとり早急にリスクの軽減を 1件
 - ハザードマップを各家庭に定期的に配布を 1件
 - 防災関連予算をもっと増やしてほしい 1件
 - 自助共助ばかりでなく公助をもっとしっかり強化してほしい 1件